

年度 2009 学期 前期	曜日・校時	火・3	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	総合英語 I (Comprehensive English I)					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	Fb		科目分類	外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員: 稲富百合子 / Eメールアドレス: inadomi@adm.fukuoka-u.ac.jp / 研究室: 非常勤講師控室 / TEL: / オフィスアワー: 授業の前後、またはメールにて受け付けます					
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標						
<p>授業のねらい: できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力、思考力を身につけていきます。あわせて、語彙力の定着を図っていくことを目指します。</p> <p>授業方法: 授業の前半ではリスニングを中心に、後半ではリーディングを中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。また、テキストは、語彙力の強化も重視した内容となっていますので、ユニット毎に語彙復習テストを行います。</p> <p>授業到達目標: (1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p>						
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)						
<p>授業内容(概要) 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット半進めることを進度の目安にしてください。授業のはじめに、各ユニットに取められているリスニングの練習問題(TOEIC テスト PART 1 の形式)を行い、その作業を通して、リーディングの内容をあらかじめ概略的に把握します。また、リーディングの内容について True / False 形式で確認します。最後にテキストに用意されている会話練習では、会話中での語句の使い方などを理解していきます。</p> <p>第1回 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方、英語の文章構成、英字新聞の特徴について)</p> <p>第2回 Unit 1 Want Fries? Never Mind, We Already Know、 Unit 2 Airbus Queuing Up for a Future</p> <p>第3回 Unit 2、 Unit 3 The World's First Biotechnology-Driven "Blue Roses"</p> <p>第4回 Unit 4 World's Fastest Elevator Installed in World's Tallest Building、 Unit 5 Fat Zapper</p> <p>第5回 Unit 5、 Unit 6 Digital Machines Replacing Conventional Photo Booths</p> <p>第6回 Unit 7 Next-Generation ASIMO、 Unit 8 'Marathon Mice' Have Implications for Athletes</p> <p>第7回 Unit 8、 Unit 9 Cars, Drink Your Veggie Oil</p> <p>第8回 Unit 10 Fuel Cells at Home to Change Our Daily Lives Unit 11 Seattle Museum Offers Tomorrow's Technology Today</p> <p>第9回 Unit 11、 Unit 12 U.S. E-Junk Recycling Still in Infancy</p> <p>第10回 Unit 13 RFID Getting Ahead、 Unit 14 Is 'Burying' Carbon Dioxide the Cure for Global Warming?</p> <p>第11回 Unit 14、 Unit 15 Inkjets Newly Registered in Medical Equipment</p> <p>第12回 Unit 16 Photocatalysis Applications Increasing around Globe Unit 17 USB Gadgets: Tapping the Power of the PC</p> <p>第13回 Unit 17、 Unit 18 Researchers to Analyze Greenhouse Gas via New Devise</p> <p>第14回 Unit 19 Will Compasses Point South? Unit 20 A New Alps Tunnel Augurs a Traffic Revolution for Europe</p> <p>第15回 全授業の総括(試験含む)</p>						
キーワード						
教科書・教材・参考書	<p><i>Science Spectrum</i> (金星堂) 1,900 円(税別) * 授業には必ず辞書を持参すること</p>					
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、授業への積極的な取り組み状況(発表)30%、小テスト・課題提出20%とし、総合的に評価する。					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ / 学習・教育目標						
備考(準備学習等)	第1回目の授業のはじめに、教室で教科書販売を行います。必ず出席してください。					